

2025 年度 定期総会資料

2025 年 5 月 18 日

オンライン開催



一般社団法人日本臨床発達心理士会 神奈川支部

2025 年 4 月 吉日

一般社団法人 日本臨床発達心理士会
神奈川支部会員各位

一般社団法人 日本臨床発達心理士会
神奈川支部 支部長 武部 正明

2025 年度 神奈川支部 定期総会について

時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、2025 年度日本臨床発達心理士会 神奈川支部定期総会は、**オンラインにて開催**させていただきます。

当日の参加方法は、基本的にはオンライン参加(自宅等のパソコン、タブレット、スマートフォン)といたしますが、オンライン参加ができない方は会場での参加も可能です(**先着5名様**、直接会場へお越しください)。会場のキャパシティ等を踏まえ、オンライン参加を推奨いたします。

なお、**不参加の場合、URL・二次元コード、または 郵送のいずれかで「委任状」**をご提出ください。

定期総会について

- 次第：①2024 年度 活動報告
②2024 年度 決算報告
③2025 年度 役員体制案及び活動計画案
④2025 年度 予算案
⑤代議員選挙
⑥支部規約の改定案 等

なお、総会資料は、支部ホームページ上に掲載いたします(5 月 10 日までに掲載予定)。
事前に各種資料をご参照いただきますことを推奨いたします。

- 日時：2025 年 5 月 18 日(日) 午前 10 時～11 時

■オンライン参加の場合(9 時 50 分から入室可)

メール配信システムにて 事前配信する URL から「事前登録」が必要です
当日は、登録者に配信される Zoom ID からアクセスしてください

なお、参加時には名前欄に氏名と臨床発達心理士会の会員番号(10 から始まる 8 桁の番号)の記入をお願いします。事務局の方で、確認がとれた方からご入室いただきます。

■会場参加の場合

オンライン参加が困難な場合のみ、下記会場へお越しください(**先着5名様**)
ウィリング横浜 11 階「研修室 111」(9 時 45 分から入場可)

委任状の提出 : 不参加の場合、以下の URL もしくは二次元コードからアクセスするか、
次ページの委任状を事務局へ郵送してください

※ URL・二次元コードによる
Web 委任状提出の〆切
5 月 18 日(日) 朝 9 時

委任状の URL :

<https://forms.gle/QsaYsDjquWUW5fXw7>



委任状

議 長 殿

日本臨床発達心理士会神奈川支部の2025年度定期総会（代議員選挙を含む）に関する議決については、すべて次の者に一任いたします

議長 または () 該当箇所に○ またはご記入下さい

2025 年 月 日

臨床発達心理士会の会員番号 (10 から始まる 8 桁のもの)

氏名

<送付先>

〒 239-8585 神奈川県横須賀市野比 5-1-1
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
吉川知夫 (宛)

※ 郵送の切: 5月7日(水) 必着

<総会に関するお問い合わせ>

下記メールまでご連絡ください。メール以外でのお問い合わせはできません。

神奈川支部事務局: jacdpkanagawa@gmail.com

支部会員皆様のご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2024 年度 日本臨床発達心理士会神奈川支部役員名簿

担当	新規/継続	氏名	所属
支部長		武部 正明	相模女子大学
副支部長		吉川 知夫	国立特別支援教育総合研究所
事務局長		白馬 智美	横浜市西部地域療育センター
会 計		佐藤 久美	Conbrio 横浜青葉
	新	於保 裕希	神奈川県立茅ヶ崎支援学校
研修担当		山本 直子	逗子市立久木小学校
		佐藤 朋実	横浜市立洋光台第二小学校
		高橋 真美	相模原市立青少年相談センター
		大川 順子	相模原市中央子育て支援センター
		小林 太郎	相模原市児童相談所
	新	吉村 拓馬	鎌倉女子大学
	新	長山 咲季	横浜市中部地域療育センター
	新	河村 恵美	横浜市教育総合相談センター
広報担当		橋爪 美津子	NPO 法人さがみメンタル・ケア・センター
		須田 恭平	横浜市総合リハビリテーションセンター
書 記		須田 恭平	横浜市総合リハビリテーションセンター
事務局		国立特別支援教育総合研究所	

<注釈>

新：新規役員 無印：前年度からの継続役員かつ同じ役職

・支部選出の代議員： 久保山茂樹、吉川知夫

2024 年度 日本臨床発達心理士会神奈川支部 活動報告

日本臨床発達心理士会神奈川支部は、263 名（2024 年 5 月 1 日現在；正会員 261 名、準会員 2 名）でスタートし、土会の活動に協力することに加えて、支部主催での研修会を年 2 回企画し開催しました。そのほか、ニュースレターを発行し、研修会報告等を行いました。神奈川支部ホームページには、関連情報を掲載しました。

1 総会の実施

2024 年 5 月 11 日（土）に、オンラインを中心に開催いたしました。2023 年度の活動報告および決算の承認、2024 年度の活動計画の決定などを行いました。

2 支部主催の資格更新研修会の開催

2024 年度は、オンライン・対面それぞれの形式で資格更新研修会を各 1 回実施しました。

<第 1 回>

【日程】2024 年 9 月 8 日（日） 10：00～13：10 3 時間

【内容】講演会「対話による治療・回復共同体の取り組み
～受刑者が自分の感情に向き合い更生するまで～」

【講師】毛利真弓氏（同志社大学 准教授）

【形式】Zoom によるライブ配信（リアルタイムでの講演会）

【参加者】50 名（神奈川支部会員、神奈川県在住・在勤の非会員の臨床発達心理士）

<第 2 回>

【日程】2025 年 3 月 2 日（日） 13：00～16：10 3 時間

【内容】講演会「子どもの社会性と自己理解に関する心理教育（SEL を中心に）」

【講師】渡辺弥生氏（法政大学 教授）

【形式】対面

【参加者】52 名（神奈川支部会員、神奈川県在住・在勤の非会員の臨床発達心理士）

3 日本臨床発達心理士会への参加・協力

- （1）支部選出の代議員が、日本臨床発達心理士会社員総会に出席しました。
- （2）全国研修会への参加、講師派遣等の協力を行いました。
- （3）日本臨床発達心理士会からの情報等を支部ホームページを活用して情報配信する等、協力いたしました。
- （4）その他、支部長会議、会計担当・事務局長会議、支部研修担当者会議、能登半島地震

災害合同本部情報交換会や災害支援委員会と支部災害協力委員の打ち合わせ会に参加しました。

4 広報活動

日本臨床発達心理士会の広報委員会の活動等も踏まえ次のような活動を行いました。

(1) 神奈川支部ホームページの運営を行いました。

- ①支部活動情報並びに地域に密着した情報、研修会情報等、記事の充実を図りました。
- ②臨床発達心理士認定運営機構、一般社団法人日本臨床発達心理士会のホームページ等とリンクし、情報にアクセスしやすくしました。

(2) 年間2回、神奈川支部ニュースレターを支部ホームページに掲載いたしました。研修会報告等、支部会員に役立つ内容をお知らせしました。また、メール配信システムを活用し、ニュースレターや研修会案内等の配信を行いました。

5 その他

(1) 神奈川支部役員会を開催しました。

(2) 総会資料の作成と配付および保管を行いました。

6 役員会の開催

神奈川支部役員会を6回実施しました。

第1回 2024年5月11日 10:45~12:00 ウィリング横浜にて実施

2024年度総会振り返り 2024年度研修会について

第2回 2024年8月21日 20:00~21:30 Zoomにて実施

第1回、第2回研修会について

第3回 2024年9月8日 13:30~15:00 Zoomにて実施

第1回研修会振り返り 第2回研修会について

第4回 2024年12月11日 20:00~21:30 Zoomにて実施

第2回研修会について 2025年度計画について

第5回 2025年3月2日 9:30~11:00、16:30~17:00

ユニコムプラザさがみはらにて実施

第2回研修会振り返り 2025年度役員体制、総会、研修会について

第6回 2025年4月2日 20:00~21:30 Zoomにて実施

2025年度総会 代議員選挙について 2025年度研修会について

2024年度 収支計算書 【決算書】 (2024年4月～2025年3月)

収入

科目番号	科目		予算額	執行額	差額
301	士会からの送金	基本準備金	540,200		
		活動企画費	0	540,200	0
		小計	540,200	540,200	0
302	支部主催資格更新研修会参加費	支部研修会参加費（会員）	100,000		
		公開研修会参加費（非会員）	0	47,000	53,000
		小計	100,000	47,000	53,000
303	災害活動助成金	助成金（機構基金運用委員会から）	0		
		助成金（外部団体から）	0	0	0
		その他	0		
		小計	0	0	0
304	預貯金利息		0	18	-18
305	雑収入	事務処理手数料	0		
		その他	0	0	0
		小計	0	0	0
	当期収入合計（A）		640,200	587,218	53,000

支出

科目番号	科目	予算額	執行額	差額
401	支部総会運営費	会場費	10,000	
		会議費	16,000	
		印刷費	0	13,300
		通信費	0	
		その他	0	12,700
		小計	26,000	12,700
402	支部研修会運営費	会場費	70,000	
		会議費	30,000	
		講師謝金	135,000	
		講師旅費	60,000	
		印刷費	40,000	
		通信費	0	252,312
		会場担当者費	0	
		役員謝金	0	
		役員旅費	20,000	
		その他	3,000	105,688
		小計	358,000	105,688
403	役員会運営費	会場費	0	
		会議費	56,000	
		旅費	20,000	
		印刷費	5,000	78,603
		通信費	11,000	
		その他	0	13,397
404	NL関係費	印刷費	0	
		通信費	0	0
		その他	0	
		小計	0	0
405	ホームページ関係費	ホームページ費	66,000	
		ホームページ担当者費	0	66,000
		小計	66,000	0
406	印刷費	5,000	200	4,800
407	通信費	5,000	1,130	3,870
408	消耗品費	25,000	24,370	630
409	人件費	アルバイト給与（発送、研修会、その他）	0	
		アルバイト旅費（発送、研修会、その他）	0	0
		小計	0	0
410	備品費	0	0	0
411	災害活動費	旅費	0	
		通信費	0	
		会議費	0	0
		印刷費	0	
		消耗品費	0	
		保険加入費	0	
		その他	0	
412	他団体関係費	小計	0	0
		JDDネット（年会費）	0	
		JDDネット（旅費）	0	0
		心理研修センター関係費（旅費）	0	
		その他	0	
413	渉外関係費	出張旅費	0	
		その他	0	0
		小計	0	0
414	支部分割関係費	会場費	0	
		会議費	0	
		旅費	0	0
		印刷費	0	
		通信費	0	
		その他	0	
415	手数料	小計	0	0
		振込手数料	5,000	
		その他	0	3,460
416	雑費	小計	5,000	3,460
			1,540	
499	予備費	58,200	0	58,200
当期支出合計（B）		640,200	437,455	202,745
当期収支差額（A）－（B）＝（C）		0	149,763	-149,763

2025 年度 日本臨床発達心理士会神奈川支部役員名簿

担当	新規/継続	氏名	所属
支部長		武部 正明	相模女子大学
副支部長		吉川 知夫	国立特別支援教育総合研究所
事務局長		白馬 智美	横浜市西部地域療育センター
会 計		於保 裕希	神奈川県立茅ヶ崎支援学校
	新	相澤 春奈	横浜市西部地域療育センター
研修担当		山本 直子	逗子市立沼間小学校
		大川 順子	相模原市中央子育て支援センター
		河村 恵美	横浜市スクールカウンセラー
		小林 太郎	相模原市児童相談所
		佐藤 朋実	横浜市立藤の木小学校
		高橋 真美	相模原市教育支援センター
		長山 咲季	横浜市中部地域療育センター
		橋爪 美津子	NPO 法人さがみメンタル・ケア・センター
		吉村 拓馬	鎌倉女子大学
書 記	(新)	長山 咲季	横浜市中部地域療育センター
事務局		国立特別支援教育総合研究所	

< 注釈 >

新：新規役員 (新)：継続役員で、別の役職（兼任含む） 無印：前年度からの継続役員で、同じ役職

※代議員 2 名を支部総会にて選出予定

2025 年度日本臨床発達心理士会神奈川支部 活動計画

2025 年は、さまざまな世界情勢による日本国内への影響はさることながら、岩手、岡山、愛媛、宮崎、三重など各県で山林火災が続き、停電・断水、住民の孤立、道路や鉄道にも影響が今もなお及んでいます。被災された方々、関係の方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、2025 年度の日本臨床発達心理士会神奈川支部は、正会員・準会員合わせて 274 名（2025 年 4 月 1 日現在；正会員 272 名、準会員 2 名）でスタートします。昨年度の総会時より 10 名ほど多い会員数となります。今年度は支部役員の改選となり、新たに 1 名の役員をお迎えすることになりました。今後も役員の入れ替えが生じると想定されますので、支部会員の皆様の中でも支部活動にご協力いただける方はぜひよろしくお願いいたします。

支部活動は引き続き、研修会を中心とした有資格者の方々にとっての生涯学習の機会を保障することが主となってきております。しかし、生涯学習というのは決して会員個人が技術研鑽することだけでなく、会員同士のネットワークを構築することも支部主催研修会の意義であると考えております。そのため、昨年度からコロナ過で数年間開催できなかった対面研修会を開催しております。

なお、日本臨床発達心理士会において広報委員会の活動が充実してきておりますことを鑑みて、支部での広報活動はホームページ及びニュースレターでの情報配信を中心とすることとして、「広報担当」を廃止することとしました。支部ホームページでは引き続き支部活動並びに地域に密着した情報を配信していく予定です。また、支部総会・支部研修会では、メール及び支部ホームページを活用しますのでご承知おきください。

最後になりますが、長く支部役員を務めていただきました、佐藤久美先生（会計担当）、須田恭平先生（広報担当及び書記）がご退任されることとなりました。長年のご尽力に心より感謝申し上げます。引き続き支部会員として、支部活動へのご助言等を賜りたく存じます。

1 総会の実施

2025 年度の総会は、2025 年 5 月 18 日（日）、オンライン開催といたします。加えて、総会の中で神奈川支部の代議員選挙を実施します。Zoom ミーティングにて、会員の皆様との双方向のやりとりを行う形で、会員の皆様のご意見を今後の活動に反映させてまいります。

2 支部主催の資格更新研修会の開催

支部主催の資格更新研修会の目的は以下の通りです。

- （１）最新の知見や先進的な実践について、講師をお招きし学習する機会を作ります。
- （２）神奈川支部における会員間の相互交流と実践に関する情報交換の機会を設定します。

<第 1 回>

【日程】2025 年 9 月 7 日（日） 10：00～13：10 3 時間（申請予定）

【内容】講演会『オープンダイアログ』で考える不登校・ひきこもり支援（仮）及び

『オープンダイアログ』のワークショップ

【講師】 斎藤環氏（筑波大学名誉教授・つくばダイアログハウス院長）

【形式】 対面

<第2回>

【日程】 1～3月上旬頃、実施予定

講師・内容については現在、調整中です。詳細が決まりましたら、支部ホームページやメール配信システムによる配信（支部会員のみ）にて、ご案内します。

3 日本臨床発達心理士会への参加・協力

- （1）支部選出の代議員が、日本臨床発達心理士会社員総会に出席します。
- （2）全国研修会への参加、講師派遣等の協力を行います。
- （3）日本臨床発達心理士会災害支援委員会からの災害支援に関する情報等があれば、支部ホームページにて情報配信する等、協力いたします。
- （4）その他、各担当役員を対象とする担当者会議に出席します。

4 広報活動

日本臨床発達心理士会の広報委員会の活動等も踏まえ次のような活動を行います。

- （1）神奈川支部ホームページの運営を行います。
臨床発達心理士認定運営機構、一般社団法人日本臨床発達心理士会のホームページ等とリンクし、情報にアクセスしやすくします。
- （2）年間2回の予定で、神奈川支部ニュースレターを支部ホームページに掲載します。
支部研修会の報告を中心に、支部会員に役立つ内容をお知らせします。
- （3）メール配信にて、研修会案内等の情報配信を行います（支部会員のみ）。

5 その他

- （1）神奈川支部役員会を開催します。
- （2）総会資料の作成と配付および保管を行います。

神奈川支部

2025年度収支計算書 【予算書】 (2025年4月～2026年3月)

収入

科目番号	科目	予算額	執行額	差額
301	士会からの送金	864,600	0	864,600
302	支部主催資格更新研修会参加費	100,000	0	100,000
303	災害活動助成金	0	0	0
304	預貯金利息	0	0	0
305	雑収入	0	0	0
	当期収入合計 (A)	964,600	0	964,600

支出

科目番号	科目	予算額	執行額	差額
401	支部総会運営費	61,000	0	61,000
402	支部研修会運営費	578,000	0	578,000
403	役員会運営費	95,000	0	95,000
404	NL関係費	0	0	0
405	ホームページ関係費	66,000	0	66,000
406	印刷費	5,000	0	5,000
407	通信費	5,000	0	5,000
408	消耗品費	25,000	0	25,000
409	人件費	0	0	0
410	備品費	0	0	0
411	災害活動費	0	0	0
412	他団体関係費	0	0	0
413	渉外関係費	0	0	0
414	支部分割関係費	0	0	0
415	手数料	5,000	0	5,000
416	雑費	60,000	0	60,000
499	予備費	64,600	0	64,600
	当期支出合計 (B)	964,600	0	964,600
	当期収支差額 (A) - (B) = (C)	0	0	0

2025年5月3日

一般社団法人日本臨床発達心理士会
神奈川支部 正会員各位

一般社団法人日本臨床発達心理士会
神奈川支部選挙管理委員会
委員長 須田 恭平

代議員選挙（2025年度就任）立候補者の通知

このたび、代議員選挙候補者（2025年度就任）が確定しましたので、代議員選挙規程第8条に基づき、下記のとおり立候補者を通知します。

記

選挙日程

候補者の通知期間	2025年5月3日（土）～5月17日（土）
投票日	2025年5月18日（日）神奈川支部総会内で投票
投票方法	選挙権をもつ正会員が代議員選挙投票フォームから投票を行う
結果の公示	2025年5月18日（日）神奈川支部総会にて報告

※候補者は次ページに提示

(届け出順)

氏名（ふりがな）	吉川 知夫（よしかわ ともお）
区分	立候補 ・ 推薦 （推薦者 武部 正明）
支部会員への メッセージ	※推薦者からのコメント 吉川先生は長年、神奈川支部で副支部長を務められ、支部活動では支部長や事務局長はもちろん研修担当や通信担当など役員のサポートを丁寧になされ、支部活動の骨格を支えておられます。加えて本務の性質上、神奈川県内はもちろん全国の支援者等とネットワークを持っておられ、今後の支部活動の発展の寄与してくださると考えております。

氏名（ふりがな）	白馬 智美（はくば ともみ）
区分	立候補 ・ 推薦
支部会員への メッセージ	私は現在、神奈川支部の事務局長として、支部活動の運営に携わっております。さらに「神奈川支部らしさ」が感じられるような魅力的な研修会の開催や支部会員同士のつながりを深める交流の場づくりなどに力を注いでまいります。社員総会への参加等の代議員の活動に積極的に参加いたします。

2025年5月18日

一般社団法人日本臨床発達心理士会
神奈川支部 正会員各位

一般社団法人日本臨床発達心理士会
神奈川支部選挙管理委員会
委員長 須田 恭平

代議員選挙（2025年度就任）結果（通知）

代議員選挙規程に基づき、代議員選挙結果を下記のとおり通知します。

投票者数	25人
得票数に参入しない票※	0票
得票数に参入した票（得票総数）	25票

※得票数に参入しない票は、重複投票された数です。

代議員候補者	候補者の信任数
吉川 知夫	24票
白馬 智美	25票

定数が、2名であることから、上記2名を代議員と決定します。

一般社団法人日本臨床発達心理士会 神奈川支部選挙管理委員会事務局
〈問い合わせ先〉 E-mail : jacdpkanagawa.senkyo@gmail.com

一般社団法人 日本臨床発達心理士会 神奈川支部規約

(名称)

第1条 本会は、一般社団法人日本臨床発達心理士会の支部であり、一般社団法人 日本臨床発達心理士会神奈川支部と称する。

(事務局)

第2条 本会は、事務局を独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（神奈川県横須賀市野比 5-1-1）に置く。

(目的)

第3条 本会は、一般社団法人日本臨床発達心理士会定款に則り、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構（以下「機構」という。）の認定する臨床発達心理士（以下「臨床発達心理士」という。）相互の連携を密にし、臨床発達心理士の資質と技能の向上を図り、発達心理学に基づいて人の発達や、健康と福祉の増進に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 一 生涯にわたる人の発達、心の健康及び福祉の増進のための支援
- 二 生涯にわたる人の発達、健康及び諸課題に関する普及啓発活動
- 三 生涯にわたる人の発達、健康及び諸課題に関する相談支援
- 四 生涯にわたる人の発達、健康及び諸課題に関する支援者などの派遣協力
- 五 生涯にわたる人の発達、健康及び諸課題に関する調査・研究
- 六 生涯にわたる人の発達、健康及び諸課題に関する刊行物の発行
- 七 生涯にわたる人の発達、健康及び諸課題に関する政策提言
- 八 臨床発達心理士の資質と技能の向上ための研修会等の実施
- 九 臨床発達心理士の職業の安定及び福祉の向上に関する事項
- 十 その他この法人の目的達成のために必要な事項

(会員)

第5条 本会の会員は、一般社団法人日本臨床発達心理士会会員であり、住所または主たる活動の場を本支部域内に有する者とする。

(入会)

第6条 臨床発達心理士の資格を取得した者、あるいは準会員・賛助会員として登録された者が、本支部に登録した時点、あるいは他支部からの異動の時点で本会への入会とする。

(退会)

第7条 会員が、第5条の条件を満たさず、次の条件に該当する時点で、本会からの退会とする。

- ① 日本臨床発達心理士会を退会したとき
- ② 臨床発達心理士資格を喪失したとき
- ③ 他支部への異動申請を受理されたとき

(事業や活動への参加)

第8条 会員は、本会が主催または共催する事業および活動等に参加することができる。

(総会)

第9条 総会は、支部会員をもって構成し、会の意思と方針を決定する。但し、準会員・賛助会員は議決権・選挙権・被選挙権を持たない。

- 2 定期総会は年1回開催し、必要に応じて臨時総会を開催することとする。

総会は、直接参集する方法の他、参加者が明確な遠隔会議システムを用いて開催することもできる。

- 3 総会の成立は、出席者と委任状提出者の合計数が支部正会員の半数を超えることとする。定足数に満たない場合は、仮総会とする。
- 4 総会の議決は、出席した正会員の過半数をもって成立とする。
- 5 仮総会における承認および決定事項は支部ホームページで公示する。その後2週間以内に支部会員総数の1/4以上の反対があった場合はその決定事項は無効となる。
- 6 定期総会には次の議題を提出しなければならない。

- ①事業の年次報告及び年次計画
- ②事業の収支決算及び収支予算

(役員・選出方法・任期)

第10条 本会には、次の役員を置くことができる。

支部長 (1名)

副支部長 (1名)

事務局長 (1名)

会計担当 (2名)

研修担当 (必要人数)

書記 (1名)

その他、支部の運営にあたり支部長が必要と認める役員

- 2 役員の選出は総会で行う。

- 3 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。欠員補充の場合は前役員の任期を引き継ぐ。途中で増員された役員も他の役員の任期と同じとする。
- 4 支部長は本会を代表し会務を執行する。
- 5 副支部長は、支部長を補佐する。支部長が不在の時に会務を代行する。
- 6 事務局長は支部長を補佐し、本会の事務を統括する。
- 7 会計担当は本会の会計事務を行う。

(代議員)

- 第11条 支部総会において、一般社団法人日本臨床発達心理士会社員総会の代議員を選出する。
- 2 代議員の選出数は理事会によって決定された定数による。また、選任後最初の社員総会終結の時から、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結のときまでとする。ただし、再任を妨げない。
 - 3 代議員は、一般社団法人法上の社員となり、社員総会に出席する。

(役員会)

- 第12条 役員会は、役員をもって構成する。
- 2 役員会は支部長が必要と認めたとき、又は役員の半数以上から招集の請求があったときに開催する。
 - 3 役員会は支部長が招集し、議事を進行する。
 - 4 役員会の議事について議事録を作成し、各役員の確認をもって確定する。

(規約の変更)

- 第13条 この規約の変更は、支部総会に出席した会員のうち3分の2以上の同意を得て決定し、理事会の承認を得るものとする。

(規約に定められていない事項)

- 第14条 本規約に定められていないことは、一般社団法人日本臨床発達心理士会の定款に則り、必要に応じて理事会の意見を聞きながら、支部役員会で判断する。

附則

施行：2023年4月1日

2025年5月18日 第10条 一部改訂